



挑戦し続ける 荻田 泰永

2000年から18年間に渡り、15回も北極圏を冒険している北極冒険家の荻田泰永さん。初めて北極を冒険したのは22歳のときでした。

大学生の頃から、自分が見ている世界に狭さを感じ「新しい世界を見てみたい」と思っていたそうです。

「当時は、自分には何かできるはず」という根拠のない自信がありました。何かをするためのエネルギーはあるけれど、そのエネルギーをどこに使えばいいのかわからなくて」と当時の心境を振り返ります。

そのような状況の中、偶然見えたテレビ番組で冒険家 大場満郎さんの話と、「来年は若者を連れて北極を歩こうと思ってる」という言葉に惹かれ、すぐに大場さんへ手紙を書きました。

そして、北極の海水上700kmを35日間歩く「北極極を目指す冒険ウォーク」に参加することになりました。

「北極への旅は全てが新鮮でも面白かった。でも帰国後は今までの日常生活に戻ってしまった」と話します。

そして「もう一度北極へ行きたい」と思うようになり、荻田さんのひとり旅が始まります。

行くたびに新たな発見ができる「北極」という世界。

荻田さんは北極への冒険の中で得た経験を、たくさんの人に伝えて行きたいとの思いから、講演や子ども向けの冒険プロジェクトの開催にも取り組んでいます。

2012年から毎年開催している「100milesAdventure」は、マイルアドベンチャー少人数の子どもたちとキャンプをしながら目的の地まで歩く冒険プロジェクト。

荻田さんは、現在、約50日間かけて1,130キロ先の南極点を目指す、新たな冒険に挑戦しています。

旅の途中で外部からの物資補給を受けずにひとり、徒歩で南極点を目指す「南極点無補給単独徒歩到達」。食料やテント、燃料などの荷物をソリにつみ、重さ100kgもある荷物を引きながら道なき道を歩く過酷な旅です。11月10日に日本を発、15日に南極大陸の沿岸部に入り、2週間が経過しました。



全ての写真提供/荻田 泰永さん



マイルアドベンチャー
8/6~8/18[100milesAdventure2017]

知らない世界を知ることのでられる感動や遠くのゴールにたどり着く喜びなどを子どもたちにも経験してほしいという想いから荻田さんが主宰となり計画。荻田さんは、「自分が大場さんに新しい世界を知るきっかけをもらったように、自分も、誰かに新しい世界を知るきっかけをつくりたい」と笑顔で話します。

成功すれば日本人初となる、大きな挑戦。「北極への冒険を始めて18年、南極点への旅は、新たな世界を見るためのひとつの挑戦。未知の世界を見て、新鮮な気持ちでワクワクを感じたい」と話し、日本を出発した荻田さん。帰国後、どのような冒険の話を書くことができるのかとても楽しみです。

これからも荻田さんのさらなる挑戦は続いていくのでしょうか。

北極冒険家

荻田 泰永

鷹栖町在住

mail ogita@northpoleadventure.jp



ホームページ



Facebook